



2024年10月30日、弘前医療福祉大学 保健学科 医療技術学科長であり、かつ言語聴覚士でおられる 小山内筆子先生をお招きし、「就学前の子どものことばの発達について」というテーマで、ご講演いただきました。

昨年までは、正しい吃音の知識の啓蒙を目的に、年に1回小山内先生をお呼びして、吃音に関するご講演を賜っておりましたが、今年度は「ことばの発達」をテーマとさせていただきます。

ことばの発達の基盤として、生理学・社会的相互交渉・認知の側面からお話いただき、多岐にわたることばの果たす役割について、そして前言語期、語彙獲得期・幼児前期、幼児後期それぞれにおける標準的なことばの発達と支援のポイントについて、気になることばの障害について、丁寧にお話いただきました。周囲の関わりや働きかけがいかに大切か、そして社会性の発達とも密接に関連していることを、再確認させていただきました。

今年度、初めて会場型で開催したのですが、予想をこえるお申し込みをいただき、大変申し訳なかつたのですがお断りさせていただいた方もおりました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

皆様の関心も高い分野であり、もう少し講演時間を長くしてほしい、というお声もいただきましたので、来年度以降もさらに充実した研修会を開催できたらと考えております。

ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

文責 品川